



県内主要産業の動向

2017年1・2月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	16年12月	17年1月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は依然低調。百貨店向け、ホテル・レストラン向けとも総じて動きが鈍い。ただし、足下では、アルミニウム素材の商品などに海外からも引き合いがあり、今後の販路拡大に期待。一方、ふるさと納税返礼品関連の受注は前年度を上回っているが、見直し議論もあり、今後注目される。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は、企業によりまだら模様だが、商品開発力が高く、人気商品を持つ企業に集中する傾向。商品別では、国内回帰の流れから、家庭用調理商品が比較的好調な一方、業務用商品は動きが鈍い。そうした中、各種見本市では、技術力PRが奏功し、引き合いが徐々に拡大中。
作業工具	◐	◐	→	国内向け販売は引き続き弱含み。輸出も、東南アジア各国での旧正月の影響に加え、米国新政権の政策の不透明さが各国業者の買い控えを誘い減少。今後も中国、韓国等で景気後退による需要落ち込みが懸念される。採算面では鋼材価格の更なる上昇が想定されコストアップ要因に。
電子部品 ・デバイス	◐	◐	↗	受注は持ち直し。半導体関連では、市場在庫の逼迫感の高まりとともに、受注動向が好転。電子部品関連でも、半導体市況の改善を受けて、半導体製造装置向けなどに持ち直しの動き。また、携帯端末関連も堅調。人手不足感が強まっており、自動化・省力化投資を計画する企業も。
鋳物	●	●	→	受注はなお低調。工作機械向けは大型・小型とも低迷が続く。また、自動車向けも弱い。そうした中、IT向けには動き。足下では受注の一部に底打ち感も。ただし、原材料価格の上昇や人手不足などがコストアップ要因に。今後の工作機械メーカーの業況持ち直しに期待する声も。
金型	◐	◐	→	受注は横ばい。プレス金型では、自動車関連は引き続き堅調、建機向けにも動き。一方、暖房機関連はピークアウト気味。プラスチック金型はなお弱含み。県央産地では受注は堅調ながら納品価格の値戻しは進まず。新卒採用を計画する企業からは予定人員確保が難しいとの声も。
一般機械	◐	◐	→	スマートフォン関連は依然需要増に繋がる好材料が乏しい。建設・プラント関連は底打ち感。自動車関連は中国・北米市場向けが好調。航空機関連は欧州、新興国の旅客機需要で高水準を維持。景気減速で不振が続いていた中国が回復基調。また米国のインフラ投資、減税政策など影響は様子見だが、一般的に緩やかな回復局面。



業種	景況			コメント
	16年12月	17年1月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、冬季でイベント数も少なかったため、展示会等への来客数も低調で、受注量は前年割れ。そうした中、雪まつりで着物の産地をPR。白生地等の資材価格は引き続き低下傾向で、収益面では若干改善も。五泉産地では、生産量・数量とも前年を下回り、総じて厳しい状況になっている。
合織織物	●	●	→	秋物受注期。消費低迷により、アパレル等の発注姿勢はなおも慎重で、全体としては前年を下回る水準。そうした中、一部で前年を上回る受注を確保したところも。足下でも、受注量の前年割れが続く。これから秋物生産期に入るが、消費低迷により、先行きも厳しい状況が見込まれている。
ニット	●	●	→	春物生産期。生産量は前年を下回る。足下も追加受注は少なく前年割れで推移。例年よりも春物生産期が早めに切り上がる見込み。アパレルの新年度計画策定が遅れており、先行きも不透明。そうした中、五泉産地ではブランド力強化のため、独自のロゴを発表。既に問い合わせも多く、今後の売れ行きに期待。
木工家具	●	●	→	業況は依然低調。業務用では閑散期で散発的な小口受注にとどまる。足下では春先の商戦向け受注に動きがみられる。一方、家庭用では受注確保に苦慮。産地組合では県内の他首都圏で恒例の展示会出展により製品をPR。各事業者も大型催事へ積極的に出展しているが消費者の反応は鈍い。
清酒	●	●	→	1月の出荷量は、県内向け・県外向けとも前年を下回った。消費者の節約志向などから、飲食店向けを中心に出荷が伸び悩んでいる。酒類別では本醸造酒が不振。出荷が伸び悩む中、「にいがた酒の陣」などのイベントを通じた需要喚起に期待する声が多い。
米菓	◐	◐	→	1月は需要期だが顧客の低価格志向の強まりから売上は前年並みにとどまった。2月も定番品が伸び悩み、総じて前年並みで推移。そうした中、春の需要期に向け生産は増加傾向。また、各メーカーとも健康を意識した新商品開発に注力するなど、新規顧客開拓の動きが活発化。
建設	◐	◐	→	公共工事は、県や市町村の補正予算関連の発注増を受けて持ち直し基調にある。県の農地部発注の工事が足下で増加している。民間工事は、大型工事が少ないものの、福祉、運輸などで底堅く推移。住宅建設は、堅調に推移しているが、足下では貸家の増勢にやや一服感もみられる。
大型小売店	◐	◐	→	1月は雪など天候に恵まれず客足が伸び悩んだことから、売上は総じて前年を下回った。2月は衣料品が振るわないものの、食品が堅調で前年並みを確保。節分商戦はまずまず。バレンタインも高価格帯商品が好調。家電量販店では春の新生活に向け、冷蔵庫などの白物家電に動意。